

消防団座談会開催報告書

令和6年11月

鉾田市消防団のあり方に関する検討委員会 分科会

目 次

座談会の結果について

- 1. 開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.1
- 2. 座談会で出た主な意見
 - (1) 再編に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・P.2
 - (2) 再編に対する懸念事項など・・・・・・・・ P.3
 - (3) 消防団の状況や活動に関すること・・・・ P.4
 - (4) 消防団の勧誘に関すること・・・・・・・・ P.5
 - (5) 要望など・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.6

座談会の結果について（開催状況）

No.	対象地区	開催日	時間	開催場所	分団数	参加人数
1	鉾田・諏訪地区	令和6年7月10日（水）	18時30分～19時50分	本庁舎2階大会議室	8	23
2	新宮地区	令和6年7月18日（木）	18時30分～20時15分	福祉事務所2階会議室	10	24
3	徳宿地区	令和6年7月24日（水）	18時55分～19時45分	本庁舎2階大会議室	8	22
4	旭南小学区	令和6年7月29日（月）	19時00分～20時16分	旭総合支所2階会議室	7	19
5	旭北小学区	令和6年7月30日（火）	18時58分～20時05分	旭総合支所2階会議室	4	9
6	巴地区	令和6年7月31日（水）	18時30分～19時31分	福祉事務所2階会議室	11	22
7	旭東小学区	令和6年8月1日（木）	19時00分～19時57分	旭総合支所2階会議室	6	17
8	旭西小学区	令和6年8月5日（月）	18時55分～19時16分	旭総合支所2階会議室	5	16
9	秋津地区	令和6年8月9日（金）	18時30分～19時32分	本庁舎2階大会議室	7	20
10	白鳥西小学区	令和6年8月21日（水）	19時00分～20時13分	ふるさと見聞館	5	17
11	白鳥東小学区	令和6年8月22日（木）	19時00分～19時57分	ふるさと見聞館	5	19
12	上島西・東小学区	令和6年8月28日（水）	19時00分～19時54分	ふるさと見聞館	6	20

合計

82

228



座談会の結果について（座談会で出た主な意見【再編に関すること】）

- ・合併するといろいろ問題があるとおもうが、厳しい状況である。
- ・区も絡んでいるので、自分たちだけではどうしようもない。
- ・できる限り早く回りの地区と合併してやっていく方がよいと思う。
- ・再編が必要あれば、隣接する分団どうしが良い。
- ・再編については、旧小学校区単位で1つ2つというのもありかと思う。
- ・旧小学校区単位であれば、小学校の名前が残るので、それだと地域も受け入れやすいのでは。
- ・3年後と言わず、人数的に厳しいので再編を進めてほしい。
- ・データを見せて頂きありがたい。地区に人がいないことが分かる。合併で進めてもらいたい。
- ・自分たちの地区は人数はけっこういそうであり、すぐに合併というわけではない。
- ・人がいても入らない人がいるので、長い目でみれば再編は必要。
- ・人数は他に比べると確保できており、今現状はうちとしては再編は必要ないと考えている。
- ・統合も単純にはできないのでは？
- ・人数を減らしながらも統合までは考えずに、区とも話している。統合しないでやっていきたい。
- ・出勤範囲もなかなかガット変えるよりも小学校単位くらいの方がいいのではないかと思う。
- ・ある程度方針として示してもらった方がいいのでは。
- ・隣接との分団との合併が現実的。
- ・会議に来るまでは再編の必要性はないのかと思っていたが、資料をみると再編が必要かと思う。
- ・実現する場合、こういった会議をしていただき細かい話をして進めることが良いと思う。



座談会の結果について（座談会で出た主な意見【再編に対する懸念事項など】）

- ・部制になっても負担は変わらない。
- ・(地区の)範囲が広く再編によりさらに広くなったら大変だと思う。
- ・他と合併したときに、何人残るか？そこでもめるのではないかという心配がある。
- ・合併ももめると思います。解散という話もしています。
- ・どことどこがくつつくとなると反発がでる可能性もある。
- ・地区の消防団なので、区長の意見も大事。区が絡んでくると難しいと思う。
- ・地区に入っていない人のこと、団費の管理の違いなど。
- ・入団が長い人が先にやめることや、違う地区の人が勧誘に行っても入ってもらえない。
- ・合併することで負担が増えるというのはいやだなというのが正直な意見。
- ・お金が絡むと地区の問題もでてくる。
- ・統合したとなると在籍年数により、年上から抜けてしまう。
- ・一人当たりの負担の増加は間違いない。それによってよけいやりたい人がいなくなる悪循環。
- ・勤め人が入りやすいようにしなければ、再編しても一時的になってしまう。
- ・せっかく機庫を新しくしたのに使わなくなってしまうという懸念がある。
- ・(地区が)喧嘩わかれした経緯があるので、難しいかもしれない
- ・地区に対しての負担。地区から何名出してとしないと土地勘がなくなってしまうという不安がある。
- ・昨年の大雨の時に区長とのやりとりが大変だった。それが合併すると複数の区とやり取りをすることになると思うがそれが大変だと思う。



座談会の結果について（座談会で出た主な意見【消防団の状況や活動に関すること】）

- ・実際に活動できる団員が少ない。出初式などの行事はいっぱいいっぱいの状況。
- ・火災出動だと2、3人の状況。
- ・分団長をやってもやめられない人が5、6人いる。
- ・消防団は忙しいというイメージがある。それを払しょくするためにも、家族の理解、親の理解が必要。
- ・新人がぜんぜんいない。平均年齢が高くなっている。
- ・50代・40代の団員ばかりで、高齢化しており存続自体が危ぶまれている。
- ・うちは分団員いるが、約3分の2が分団長をやって下に残っている状況。
- ・同僚の女性に聞くと、消防団の印象が良くない。
- ・分団によっては上の人が帰らないと帰れない。
- ・奥さんなど、家族の中で消防団を良く思っていない。
- ・自営の人が少なくなってきたおり、昼間消防団として動けないことが問題。
- ・昼間の火災にでられない。勤めで日中抜けられないため、災害の時に問題になってくる。
- ・(団員が少なくなり)、夏季訓練や火災への出動が難しくなります。
- ・半分以上農家で昼間の出動も問題ないが、今後団員は、間違いなく少なくなる。
- ・年齢が上がるにつれ、病気やケガで参加できない。人数は減っており、訓練にも参加できない状況。
- ・区の協力が頂けず、人員確保が難しくなっており、消防団を区の方に返すような話も出ている。
- ・平日は、分団長と私が対応している。地元の火事は優先して出ているが、それ以外は難しい状況。
- ・現状、私が出動するときOBの人に来てもらっている。



座談会の結果について（座談会で出た主な意見【消防団の勧誘に関すること】）

- ・区長にお願い協力を仰いでもうまいかないこともある。
- ・各種行事について、消防団員は必ずしも参加しなくてよいと枕詞で勧誘している。
- ・勧誘に行っても、入ってもらえない。知り合いがいないから入ってもらえない。
- ・どこに住んでいるか把握できていない。区に入らない人が多いので把握できない。
- ・勧誘に行ったが、5人全員断られた。年代が近ければ違うが、年齢が離れると顔も見たこともなく難しい。
- ・今年度待遇が良くなったが、その程度では勧誘するためには足りない。
- ・勧誘する家がなくなってしまった。新規で見つけた場合消防団のメリットをどう伝えていくか。
- ・地区に入ることは外から来た人は相当プレッシャーがある。若い世代は消防団のイメージがブラックどうしてもよくない。昔の酒飲んで遊んで問題を起こす。そういったイメージで嫁さんがダメ。今はそんなことないが、市の方からもクリーンなイメージ、市でもそういったアピールもできればと思う。
- ・酒飲みもあまりない状況なので、乱痴気騒ぎもほとんどない。それを信じてもらえない。
- ・声をかけても無理、どうやって勧誘すればいいか分からない状況。
- ・操法大会が負担になっている。今後人員確保のネックになるのかと感じている。
- ・消防活動以外の泥棒などに対する防犯についても消防団の声かけを行っている。イメージアップを図らないと若手の確保は難しいと思う。
- ・イメージが悪く、夜の付き合いなどをダイレクトに言われ、だから入らないと言われてきた。
- ・昔の消防団のイメージが強く、奥さんもあまりよく思っていない。やめなさいと思われてしまう。
- ・親に断られてしまう。かつて親が消防団に入っていた人が子の入団を断る。
- ・操法大会も新しい新入団員を入れるためにハードルが高くなっている。



座談会の結果について（座談会で出た主な意見【要望など】）

- ・人口も減っていく中で団員1人当りの負担も減るので、団員数を減らしても良いのではないか。
- ・出初式については、分団長のみの参加で引き続きお願いしたい。出来るだけ分団の負担を軽減してほしい。
- ・新入団員訓練や分団長訓練についても統一してほしい。
- ・OBに活動してもらうことも。(機能別消防団)具体的な活動範囲が分かった方がすすめやすいのでは。
- ・人数が少ないことが現実。合併できないのなら負担を減らす。夜警、訓練を減らす。
- ・少ないなら少ないなりのやり方も検討してほしい。
- ・鉾田市に戻ってきたい、住みたいという環境づくりをお願いしたい。
- ・火災に出動に対し、集まった人数を見ると、こんなにいないと思う。
- ・運動会などで真面目にやってますというのをアピールすれば、印象も良くなり入る人もいるのではと思う。
- ・ポスターなどを作ってPRしていくことも良いと思う。報酬が出ますなど、メリットを伝えた方がよい。
- ・地区に消防団は必要であり、コミュニティとして地区とのつながりを持っているのは消防団。ただ、現状として続けられるかは別の話。
- ・人員を確保するには団員の負担をなるべく減らしてほしいと思っている。
- ・人が減るのは日本全体の問題。減った中でどのように活動するのか。女性の活用、外国人の活用。それをやっていない。若い人ばかりが入る想定、それを脱却していかなければならない。
- ・操法大会に自治体として参加していないところもある。負担を減らす意味でもご一考していただければと思います。
- ・消防の旅行とか、反省会があってそういったことが負担になっている人もいる。そういったところを話し合って削っていければ入る人もいると思う。



HOKOTA FIRE BRIGADE



銚田市消防団としての
消防団再編及びあり方に対する考え方について

令和 6 年 1 1 月

銚田市消防団のあり方に関する検討委員会 分科会

はじめに

消防団の活動は、火災の消火活動はもとより自然災害等における行方不明者捜索など活動領域は多岐にわたり、地域の防災の中核的存在として「自分の地域は自分で守る」という崇高な精神のもと活動しています。また、消防団の活動を通し地域コミュニティにとっても重要な役割を果たしているところでございます。

その一方で、全国的に団員数が減少しており、地域防災力の低下、地域コミュニティの崩壊に対する危機感が高まっています。

本市においても少子高齢化や社会情勢の変化に伴い、急速な団員数の減少に直面しており、団員の確保と現役団員の負担軽減が喫緊の課題となっております。

今回、鉾田市消防団のあり方に関する検討委員会の分科会として、分団長に対する消防団座談会を開催したことで、各分団の現状について話し合いができたことは、大変、有意義であったと感じております。

この座談会では、再編について多くの分団からは賛成の意見が出たところではありますが、一方で慎重な意見もあり、再編については、各分団それぞれが抱える事情等を考慮する必要があることも改めて確認したところでございます。

この座談会での意見を踏まえつつ、これまでの経緯、更には当市の将来的な人口の推移、あるいは今後の社会情勢の変化等も考慮し、消防団として検討を重ねた結果としまして、将来的に消防団を維持していくためには、再編は避けられないとの判断に至りました。

以上から、消防団としての再編の方向性や負担軽減に対する考え方をまとめましたので、検討委員会の皆様に内容等につきまして、御審議をお願いいたします。

令和6年11月

鉾田市消防団のあり方に関する検討委員会 分科会 会長兼
鉾田市消防団 団長 根本 将夫

■再編の考え方について

再編については、現在の支団（旭支団・鉾田支団・大洋支団）・分団制から、方面隊・部制へ移行することで、近隣の協力体制を整えることで消防力の維持を図りたいと考えております。

進め方についても、完全なトップダウンではなく、各分団がそれぞれの意思で進めることが、再編を進める上で鍵になると考えております。

そのため、段階を設けて再編を進めたいと考えており、まずは第1段階において、分団の協力体制や話し合いができる体制として、旧小学校区単位を基本とした体制に移行していきたいと考えております。

その中で、方面隊長や小隊長が小規模なまとめ役・相談役となり、再編が必要な分団についてはスムーズに統合できるよう、サポート体制を強化するものです。

第2段階として、再編が進んだ分団は部へと移行（小隊の中で1つでも部ができた場合は、その小隊は全て部へ移行）し、最終的には支団・分団制から方面隊・部制へと移行することで、地区の垣根を超えた消防・防災体制を整えることで、再編・統合後も消防力の維持を図るものです。

■消防団のあり方について

少子高齢化や就労環境の変化等、社会情勢が変わる中でも、消防団を維持できるよう取り組んで行く必要があります。

その様な中、今回の座談会では、消防団活動に対する負担軽減についての要望も多く出されたところです。

しかしながら、消防団としての活動はこれまでも見直しを進め、既に訓練や各種行事については、最低限の回数、最低限の出席者になってきているところでございます。

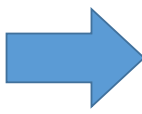
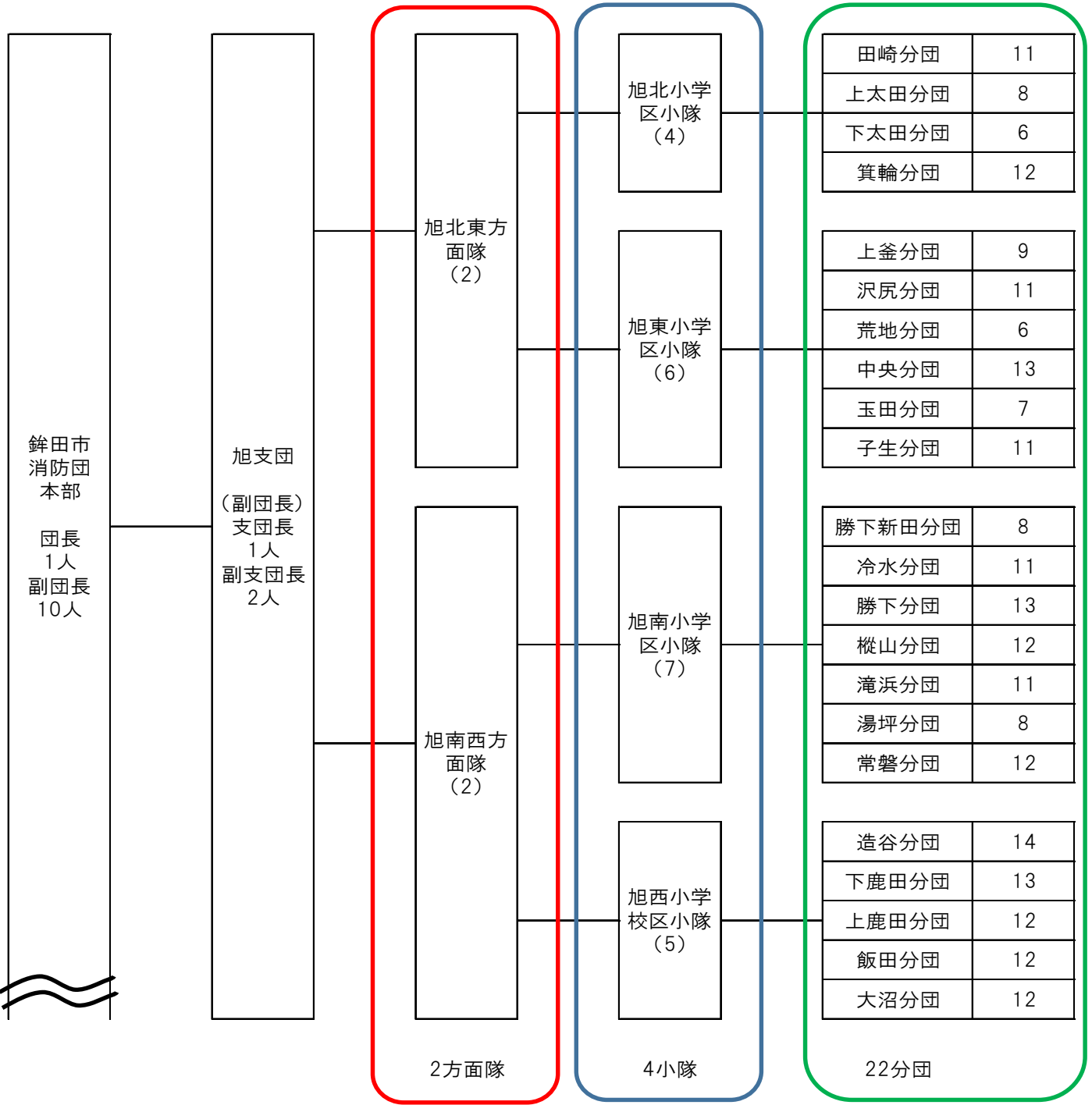
今後については、再編に向けた各分団の協力体制の構築と同時に、各種行事についても各分団が協力して参加するなど、柔軟な対応を検討していきたいと考えております。

また、各分団が個々に行っている行事等についても、それぞれの分団が見直しを検討できるよう助言していきたいと考えております。

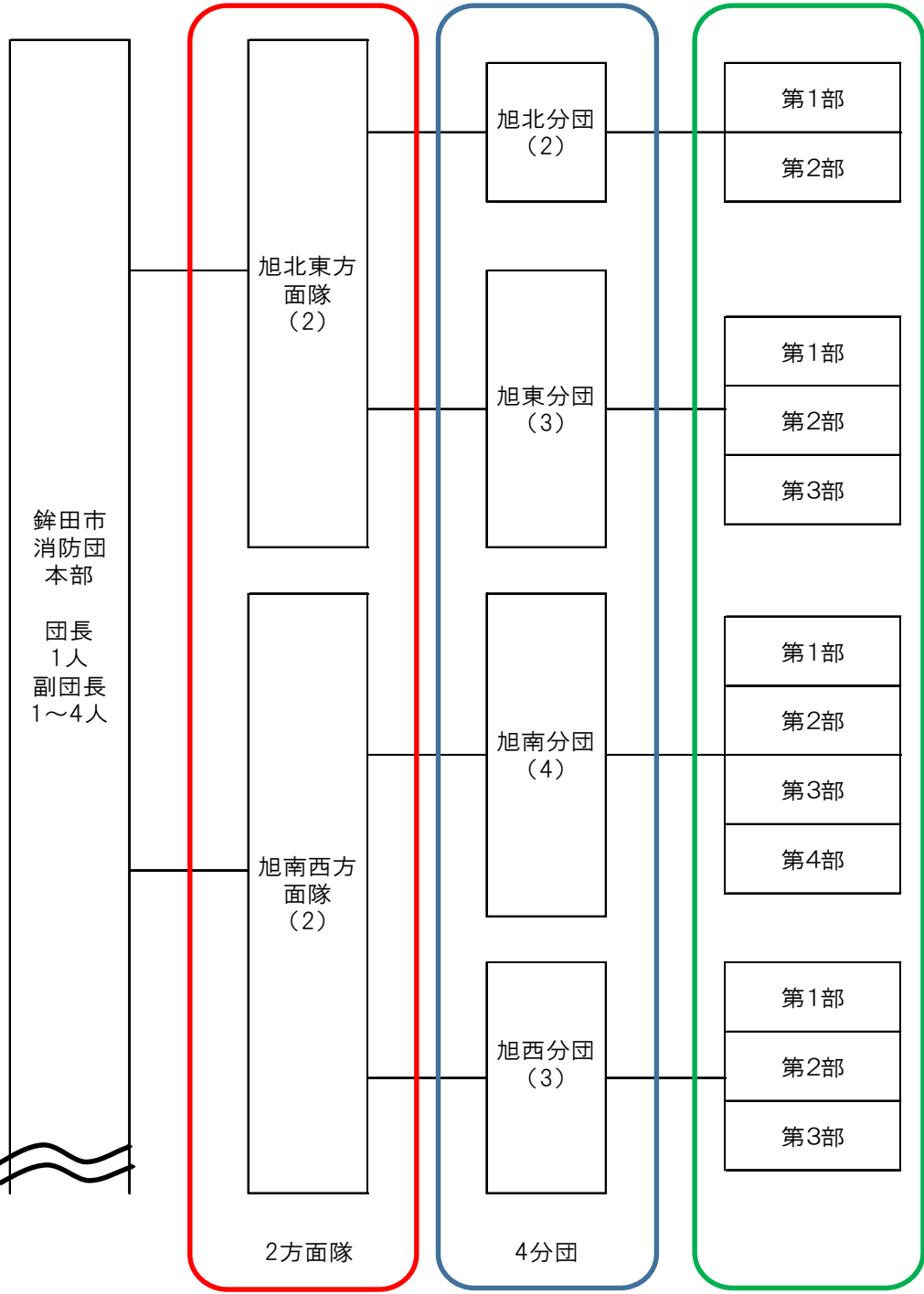
【案】

鉾田市消防団再編

【第1段階】



【第2段階】

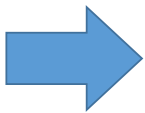
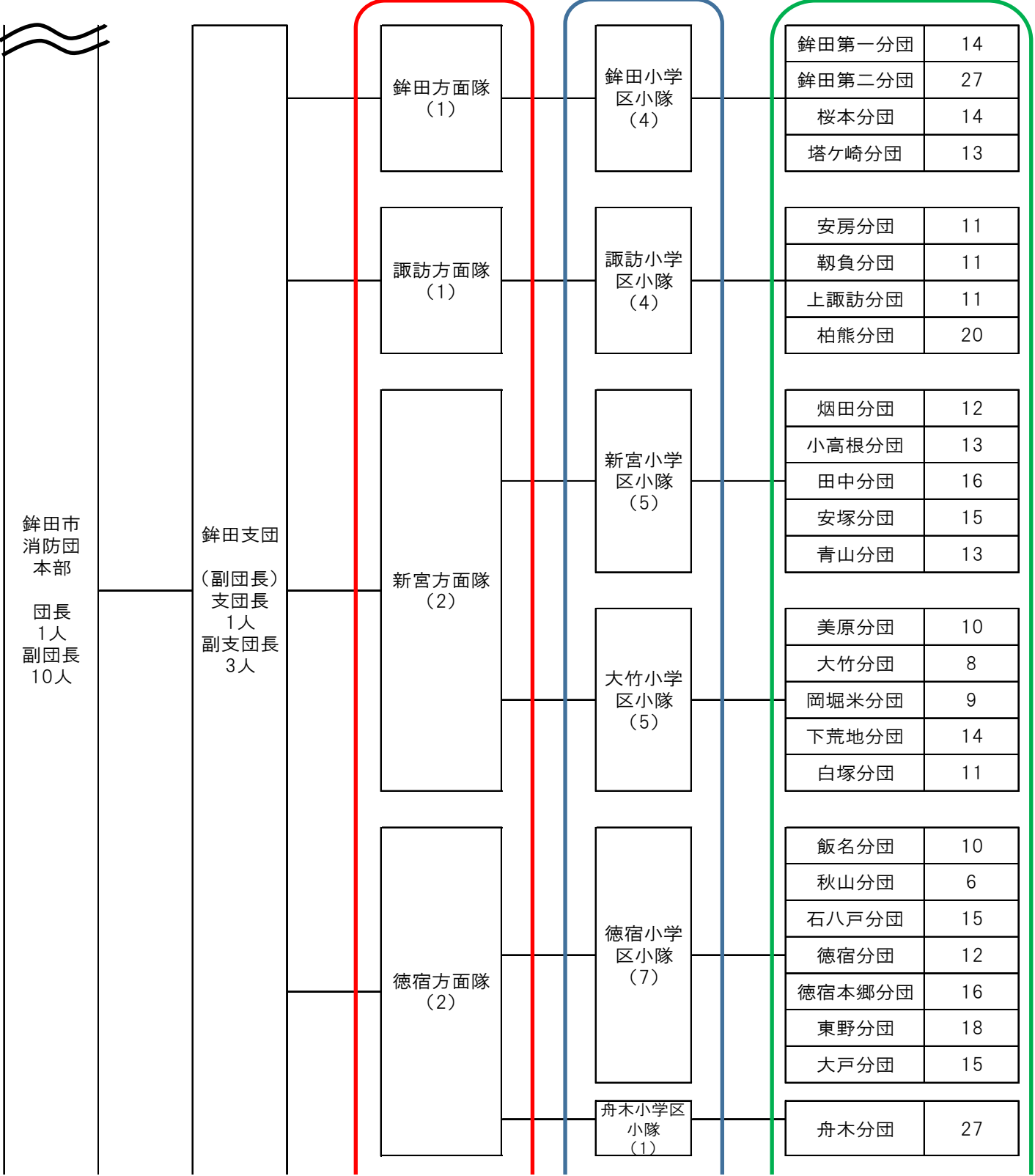


部の数は計算により算出した参考値です。
小隊の分団数÷2＝四捨五入により算出

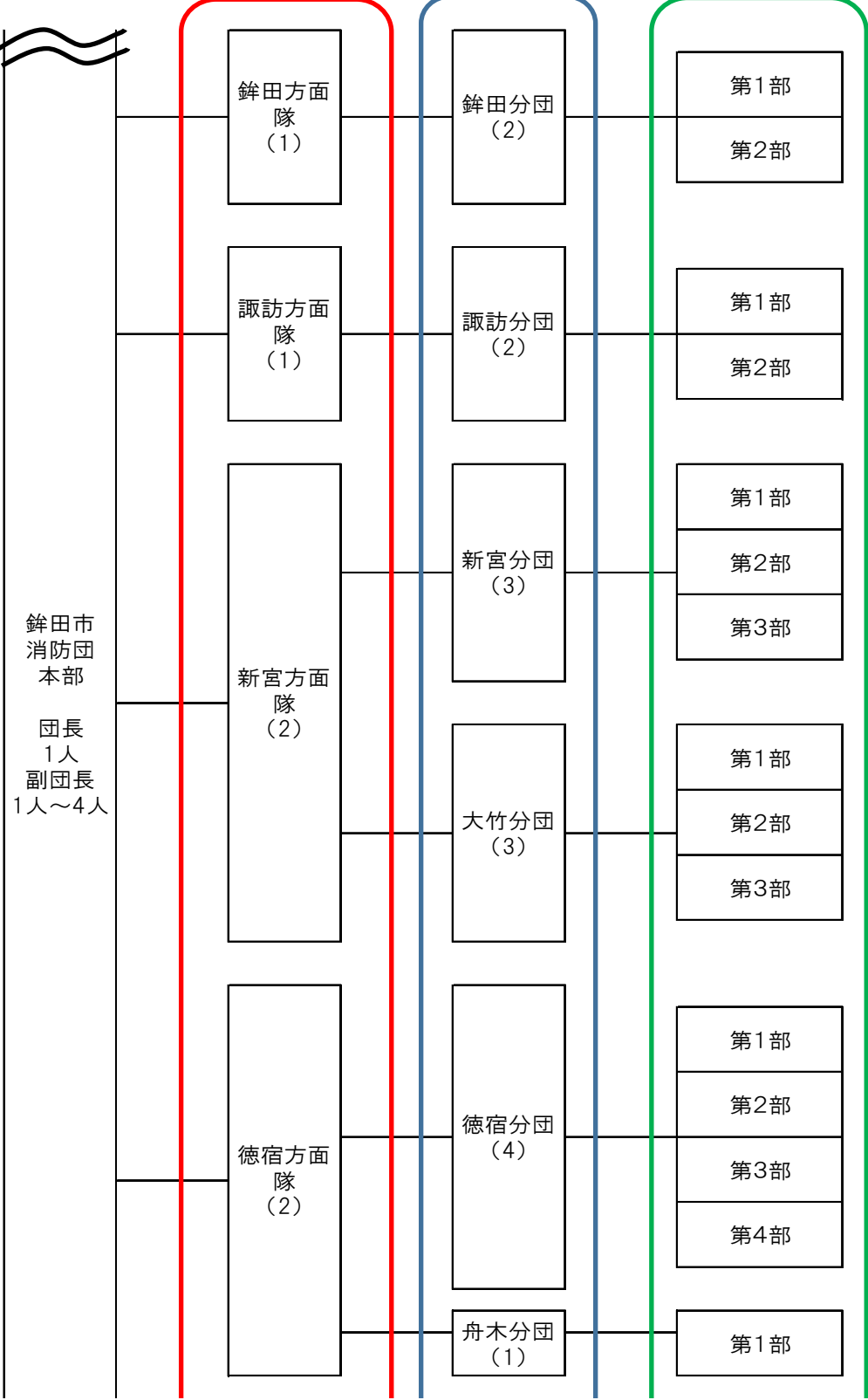
【案】

鉾田市消防団再編

【第1段階】



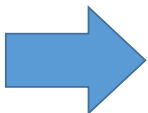
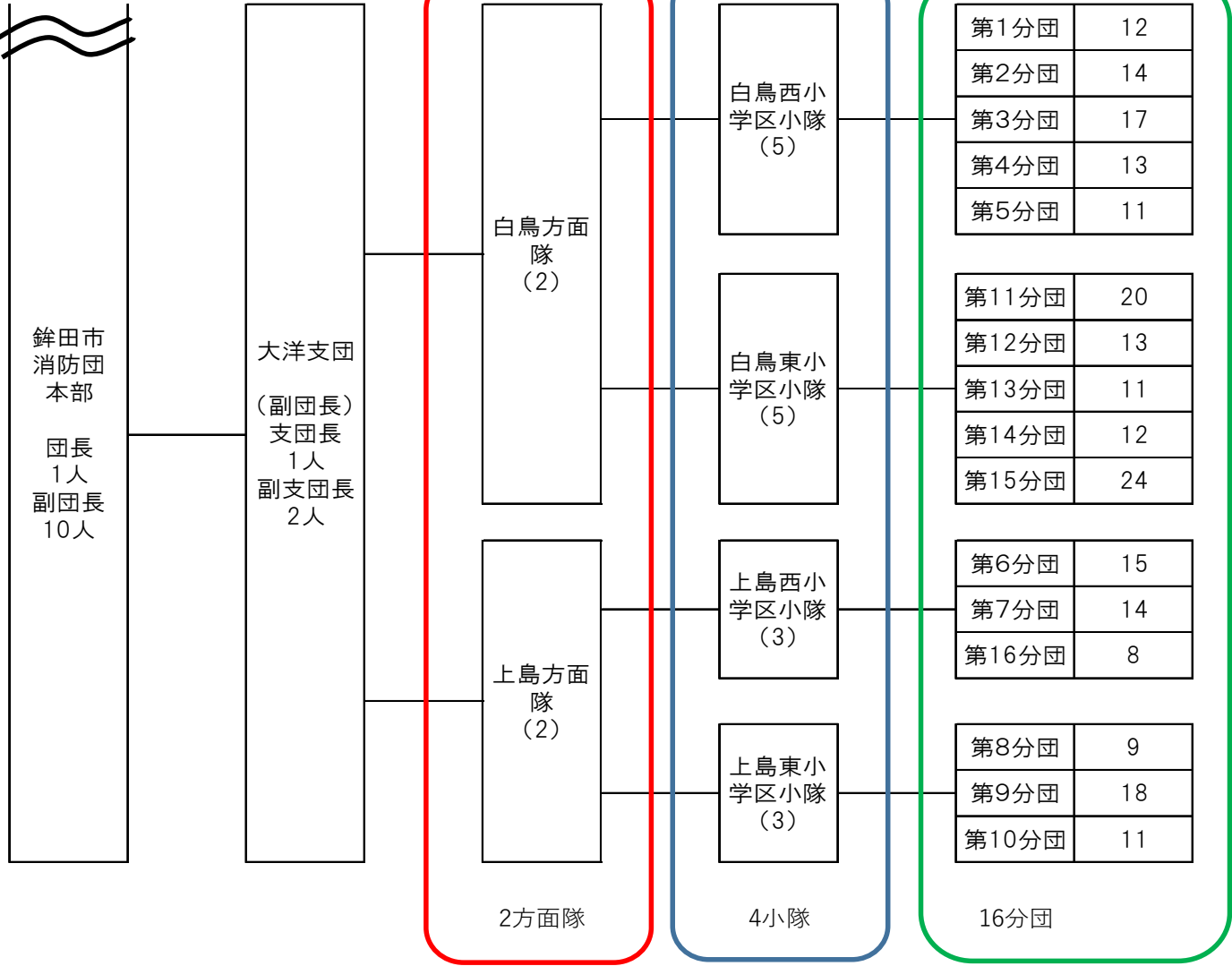
【第2段階】



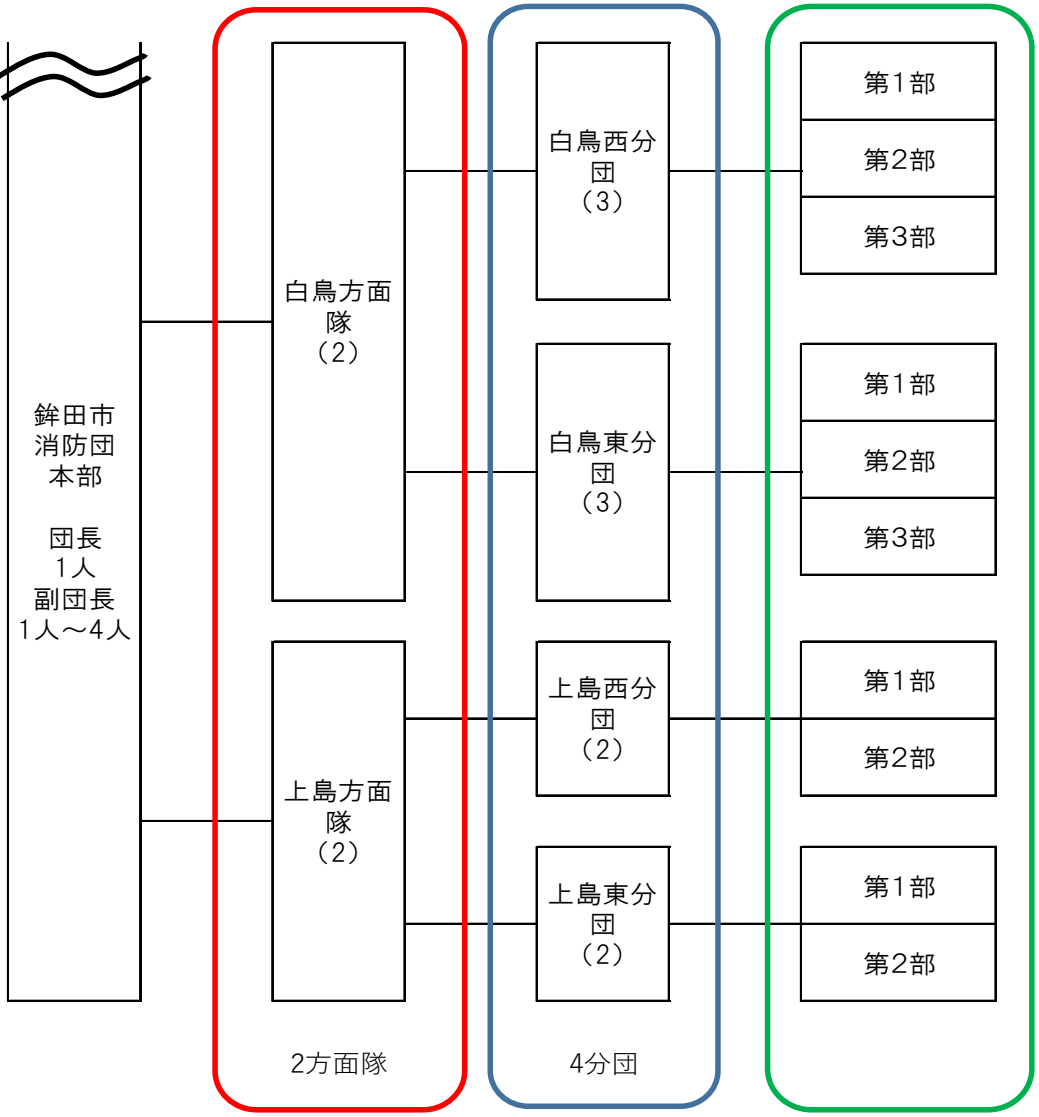
【案】

銚田市消防団再編

【第1段階】



【第2段階】



部数は計算により算出した参考値です。
小隊の分団数÷2＝四捨五入により算出

鉾田市消防団のあり方に関する検討委員会報告書の構成について

【構成（案）】

1. はじめに

- （1）委員長名による提言

2. 消防団を取り巻く状況

- （1）消防団の現状
 - ・団員数の推移
 - ・平均年齢の推移
 - ・市の人口推移、将来推計 など
- （2）消防団が抱える課題
 - ・分団長アンケート及び座談会の結果 など

3. 消防団の組織力を維持していくための施策

- （1）消防団の再編について
 - ・消防団としての考えを反映した組織再編について
- （2）今後の消防団運営に当たり取り組むべき事項
 - ・報酬等の処遇改善について ※令和6年度より実施済み
 - ・消防団員の負担軽減について
 - ・消防団活動に対する社会的な認識、理解の促進について
 - ・消防団のイメージアップについて
 - ・幅広い住民の入団促進について など

4. その他

- （1）鉾田市消防団再編検討委員会設置要綱
- （2）鉾田市消防団のあり方に関する検討委員会設置要綱
- （3）鉾田市消防団再編検討委員会委員名簿
- （4）鉾田市消防団のあり方に関する検討委員会委員名簿 など

銚田市消防団再編に係る検討委員会等の開催状況

【参考資料】

令和4年度	令和5年 (2023年)	3月 28日	第1回銚田市消防団再編検討委員会 ・銚田市消防団の現状について ・現在における消防団の課題について	
		12月 25日	第2回銚田市消防団再編検討委員会 ・再編検討委員会委員アンケート結果について ・分団長向け銚田市消防団再編検討に係るアンケート調査について ・今後のスケジュールについて	
令和5年度	令和6年 (2024年)	3月 27日	第3回銚田市消防団再編検討委員会 ・分団長アンケート結果について ・今後の取り組み等について ・（仮称）銚田市消防団のあり方に関する検討委員会設置要綱（案）について	
		6月 5日	第1回銚田市消防団のあり方に関する検討委員会 ・銚田市消防団のあり方に関する検討委員会について ・銚田市消防団の現状と課題について ・分科会の設置について ・今後のスケジュールについて	
令和6年度		6月 21日	第1回分科会 ・銚田市消防団のあり方に関する検討委員会 分科会について ・その他	
		7月 10日	座談会	銚田・諏訪地区
		7月 18日	座談会	新宮地区
		7月 24日	座談会	徳宿地区
		7月 29日	座談会	旭南小学区
		7月 30日	座談会	旭北小学区
		7月 31日	座談会	巴地区
		8月 1日	座談会	旭東小学区
		8月 5日	座談会	旭西小学区
		8月 9日	座談会	秋津地区
		8月 21日	座談会	白鳥西小学校区
		8月 22日	座談会	白鳥東小学区
		8月 28日	座談会	上島西小・上島東小学区
		9月 13日	第2回分科会 ・座談会の結果について ・再編の必要性の検討 ・今後の消防団のあり方について	
		10月 11日	第3回分科会 ・銚田市消防団再編について ・消防団活動における負担軽減について	
		11月 21日	第2回銚田市消防団のあり方に関する検討委員会 ・銚田市消防団座談会の開催結果について ・銚田市消防団としての消防団再編及びあり方に対する考え方について ・今後の取り組みについて	